

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市左近山地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

担当地区である左近山地区、市沢地区は、高齢・障がい・子どもについて様々な課題を抱えている地域である。

高齢の分野では、左近山地区は高齢化が顕著で、独居世帯、老々介護世帯が多いこともあり、見守り体制の構築が急務である。また団地では階段昇降に困難な住民が今後とも増加傾向にある。

障がいの分野では、精神障がいのある方や知的障がいのある子と年老いた親子世帯等いわゆる 80 : 50 問題等も徐々に表面化してきている。

又、どこのサービスにもつながっていないケースが潜在している。

子育ての分野では、虐待や貧困、養育困難といった支援が必要な家庭が多い。両地区とも、担い手不足の解消と不足している支援の仕組みの検討を進めている。

#### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

○高齢者、障がい、子ども等の相談については、些細な事でも気軽に相談できる体制づくりを行い、必要に応じて適切なアドバイスのできる専門職員へ繋ぐよう努めた。また、職員シフトを調整する事で相談をいつでも受けられる様な体制がとれた。

○相談については、窓口、電話での相談はもとより、地域事業やケアプラザの自主事業等においても、参加者との積極的な会話を通し、小さな様子の変化に気づき声かけをすると共に、各部署と連携をとり情報共有を行う事で継続的な相談に繋がった。また、個別に相談が出来る様に配慮をして、プログラム後に来所への声掛けや自宅訪問をする事で次の支援につなげる事が出来た。

○必要に応じて関係機関に迅速に繋げている。特に民生委員との情報交換を密にする事で、早期支援に繋げる事が出来た。

○高齢者食事会や老人会、親子サロンに定期的に参加し地域の状況把握に努め、その場で相談を受けたり、相談者に合った情報提供を行う事で、ケアプラザが相談窓口である事の認知度を高める事が出来た。又、介護予防に関する健康教室の紹介も行っており、健康意識を高めて頂ける様に働きかけが出来た。

## (2) 各事業の連携

○地域包括支援センター3職種と地域交流コーディネーター・生活支援コーディネーターの各特性を生かした連携、協働を行っている。自主事業については、各職種が把握している地域ニーズや個別課題の反映が出来る様に企画し、介護保険サービス以外で利用できるインフォーマルサービスとして積極的に繋げる事が出来た。

○相互の事業計画書と報告書を回覧する事で、各部署の事業への理解が深まり、相談者のニーズに合った事業の紹介を行う事ができ、広報や受付業務にも効果があった。

○自主事業の中で、地域ニーズの収集や参加者から近所の方の情報を頂く事も多く、相談業務に早期に繋ぐ事が出来た。

○自主事業やボランティア育成においては、それぞれが把握している情報を共有できる体制が取れており、協働する事で、幅広く活動の場を提供する事が出来た。

○対象者が幅広い年齢層になる事業は共催で行い、利用者の情報を共有して支援している。また、各部署での事業の参加者層が重複する場合も多く、事業内容や開催の様子などを把握する為、事業の見学や情報の共有も行った。

## (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

○安定した職員配置が出来た事で、5職種の連携強化が図れた。

○正面玄関に各担当職員の写真、職種、氏名を掲示する事で、職種や名前と顔を一致して覚えやすくし、名前と呼んで頂ける関係が出来た。

○職員育成として、法人主催の職場研修を年間計画表に基づいて実施している。特にサービスマナーや救命講習は年2回実施する事で質の高いサービスの提供という目標に前進する事が出来た。

○専門家としての自覚を高める為に、外部団体の主催する研修にも参加し専門的知識の習得に努める事が出来た。

## (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

○貸館を利用して開催される子育て支援者会場や、ひなたぼっこの出張広場を通して、各方面の関係者との情報交換を行う事ができ、気になる親子の対応を連携して行う事ができた。また昨年同様に、左近山保育園主催の事業に協力する事で、情報交換の機会も増え、連携した見守りを行えた。

○支えあいネットワーク等を通じ、関係機関や地域の方の定期的な話し合いに参加する事で、地域の状況や課題についての情報交換・検討を行った。

市沢地区においては、分科会の定例会、分科会主催の活動や講習会等に参加し、情報提供や進捗状況の確認、専門分野での協力を行った。また、市沢ふれあいホールに出向き、子育て支援に関わる情報交換が出来た。

左近山地区においては、支えあいネットワークの運営委員会や実行委員会に参加し、各方面から地域の状況を得る事が出来た。また、ほっとさこんやまで行われている日曜ほっとに出向き、地域の子育て事情や支援に関わる情報交換・共有が出来、見守りに繋がった。

○ケアプラザ登録団体やボランティア活動を行っている個人、団体を対象に、情報交換や意見交換の場として、また各々の活動の理解を深め、協働に繋がる場として登録団体説明会・ボランティア交流会を開催した。

○昨年度から参加している一部の自治会で行っている「すべての住民の状況把握」にはケアプラザも参加しており、民生委員が担当するエリアの高齢者を中心に住民すべての状況を把握する為に訪問を行い、確認できない場合等段階を追って地域包括支援センター職員が訪問し状況把握に協力する体制を作った。  
しかし、今年度半ばから話し合いが中断されている為、引き続き行われる様に声をかけている。

#### (5) 区行政との協働

○地域福祉保健計画では、各リーダーを中心とした支援チームで、区や区社協と地域の状況や動き、情報の共有を必要なタイミングで行い、地域の目指す展望に向けての検討を行う事で、地域の望む支援が出来る様に努めた。

○子育て支援事業として、区こども家庭支援課と地域子育て支援拠点が主催する支援広場への会場提供や、左近山保育園主催の子育てに関する事業への会場提供を行い後方支援する事で、地域の子育て情報の収集や提供を行えた。

○市沢地区では、区・区社協と協力して、各分科会の会合やイベントに参加し、各リーダーや参加者との対話などから、収集した情報を支援チームで常時共有する様に努め、計画の推進に繋げることが出来た。

○左近山地区では、区・区社協と計画の推進方法の検討を重ね、地域が主体となって進める事の出来る体制づくりを引き続き行った。年間計画の中の交流イベントとして実施している団地祭・ウォーキング・スタンプラリーの実行委員会の運営において、事務局として協力し、事業の推進や各委員・区・区社協との調整役を果たす事が出来た。

又、区主導の大規模団地再生事業についても検討会に参加し意見交換をする事が出来た。

○区社協や地区社協、他団体と共に、左近山小学校の福祉講座へ参加し、地域の子どもの福祉についての理解を深める事が出来た。

## 2 地域活動交流事業

#### (1) 自主企画事業

○地域の方との関わり合いの中で得た情報や、施設利用者から聴きとった声をもとに、地域性や住民のニーズに沿った事業を例年同様開催する事が出来た。また、住民が求めている活動内容を把握し、次年度の新事業企画への参考にする事が出来た。

○登録団体が自主的に企画運営する単発自主事業を開催し、各世代の様々な地域の方楽しんで頂いた。また、登録団体の主催者としての意識が芽生え、主体となる楽しさとやりがいを感じて頂く事が出来た。

○子どもの成長段階に合わせた事業を展開し、継続してケアプラザの利用をして頂く事で、保護者と共に子どもの成長を見守る事が出来た。また、相談に対して適した対応をする事に繋がった。

○小学生を対象とした事業を年間を通して開催し、ケアプラザの認知に繋がった。また、多くの登録団体の方にボランティア活動の場を提供し、多世代間交流を持つ事が出来た。

○障害児を対象とした余暇支援事業では、社会人となった障害児とその保護者、新たな小中学生の参加者と保護者との交流ができ、進路を含めた子育ての情報交換の場となった。また、障害者施設の職業体験を通して、社会展望の参考に繋がった。

○毎年行っている単発自主事業を、例年同様同時期に開催し、地域行事と同じ様に年間予定として記憶してくださる事で参加者が定着した。また、初めての方でも参加しやすい内容で行う事で新規利用に繋がり、毎年行う内容に変化をつける事で、飽きずに継続参加をして頂いた。

○地区のジュニアボランティアを対象とした事業では、地域での支えあいをテーマに学び、自分に出来る事、地域で出来る事についての意見交換が出来た。また、デイサービスでのレクリエーションや、地域の高齢者対象食事会のレクリエーションのボランティア活動に繋がった。

○例年行っているケアプラザ祭りでは、ケアプラザで行っている介護予防教室や自主事業の体験など普段の利用に繋がる内容で行い、ケアプラザの周知に繋がった。また、地域のボランティア団体の出店やPRブースを設ける事で地域活動を広める事が出来た。

## (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

○常日頃から各団体メンバーとの会話を通し、活動の状況や困りごとを把握する様に努め、希望する活動に沿える様にアドバイスや調整を行った。

○地域の方や相談者が希望する活動に合った施設利用に繋げる為、利用の方法や紹介をし、継続した活動が出来る曜日や時間帯への誘導などを行い、活動の場を紹介する事が出来た。

○活動しやすい状況を作れる様に、部屋の空き情報やキャンセルの情報を1階受付脇に掲示し、情報提供が出来た。

○各団体の抱える課題には、団体にあった対策や可能な範囲での解決方法を提案し、団体の代表やメンバーと共に課題解決に向けて協力しあう事が出来た。その中で、メンバー増員を希望する団体においては、自主事業で無料体験会を行う事を提案し、企画や広報で協力する事で、課題解決に繋げる事が出来た。

○各団体が施設利用に対しての共通認識を持つ事を目標に、登録団体を対象とした説明会を年に一度行い、どの団体も平等かつ気持ちよく利用して頂ける様に努めた。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

○広報誌にて各種ボランティアの募集を行い、地域の方に広くボランティアに関心を持って頂き、参加して頂く事が出来た。

○地域の方や、シニアボランティアポイント登録者などの活動についての相談を受け、対象者の意向と都合にあったボランティア活動の場を提供した。また、継続した活動に繋がる様に、他メンバーとのマッチングや受入れまでの見守りを行い、定着するまでのフォローが出来た。

○ケアプラザ利用者や地域の方の相談から、生活力の向上や心身の不安解消を目的とし、対象者にあったボランティア活動への参加を勧めた。その結果、ボランティア発掘に繋げる事ができ、継続して活動して頂けた。

○登録団体を対象に自主事業でのボランティア募集を行い、多くの団体に活動の場を提供する事が出来た。また、毎年同じ事業に携わる事で、内容の検討や準備などを団体が自主的に行う様になり、個々の意識向上と定着したボランティア活動へ繋げる事が出来た。

○高齢者昼食会の第二ほのぼの会が安定した活動の継続が出来る様に、常時代表と情報共有し協力する事が出来た。また、第二ほのぼの会でのおでかけワゴンの臨時運行にあたっては、代表間の話し合いに参加し、より意義のある協働が出来る様にフォローし、継続した見守りを行う事が出来た。

○登録団体を対象に行った説明会で、さらなる意欲の向上と今後の活動の参考となる様に、各団体のボランティア活動の実績を紹介した。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

○広報誌に自主事業の紹介、施設利用団体やボランティアの活動紹介や、メンバー募集を掲載した。また、地域の取り組みや情報を掲載する事で、多種多様なニーズに対応できる情報を発信する事が出来た。

○施設内外の掲示板を利用して、自主事業の紹介を常時行えた。また、屋内に登録団体の活動紹介を掲示し、活動の場を求める相談時の紹介に大いに活用する事が出来た。

○登録団体や地域内で活動している団体の活動状況などを把握し、相談者や地域の方のニーズにあった活動団体の紹介や情報提供を行い、仲介する事が出来た。

○地域の各ボランティア団体の取り組み（高齢者昼食会・小学生の余暇支援）や、子育てサロンなどに定期的に参加し、主催者や参加者など各方面からの情報収集・情報の発信・提供を行えた。

○地域の状況を把握し情報を収集する為、地域の事業や行事、会合の場に参加し、情報の収集・発信に努める事が出来た。

○周辺の学校の職場体験や、施設見学の受け入れ、福祉体験教室への参加協力などを行う事で、各方面からの情報収集や提供を行う事が出来た。また、小学校の総合の授業に関わり、小学生がデイサービスのレクリエーションに継続して参加し、高齢者との交流を行う事で、体感する福祉教育に協力する事が出来た。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

○5職種が生活支援体制整備事業の役割を把握し、サロンの様な交流の場等では地域活動交流コーディネーターと主に協力し、左近山おでかけワゴンやCHCでは主に地域包括支援センター職員と協力し、進める事が出来た。

○地域のイベントや集まりがある際は生活支援体制整備事業の目的である高齢者の生きがいや役割を持てる地域づくりについての大切さを地域の方々に積極的に伝える事が出来た。

○区役所、区社協等が主催する研修や定例会等に参加し、情報共有を行い、日頃から業務連携して取り組む事が出来た。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

○他地区で先行的に取り組んでいるサロン活動等を担当地域で広げられる様に視察し、地域に伝える事で交流の場の必要性と見守りなどの役割を理解して頂く事が出来た。市沢地区では自治会長の定例会に参加し、サロンについて話をする機会を設けて頂いた。市沢地区では1つサロンが立ち上がり、サロン開催の検討に2箇所動くことが出来た。また、担い手のサロン視察も検討し、調整を進める事が出来た。

○利用者アンケートを取り、個人のニーズを把握する事が出来た。すでにあるツールからも地域ニーズを把握する事が出来る事が分かった事を地域包括支援センターと地域活動交流と共有する事が出来た。

○左近山では、「左近山おでかけワゴン」の本運行が始まり、毎週木曜日の運行を順調に1年間行う事ができ、左近山全体に少しずつ周知されてきた。毎月の運行状況を集計し、今後の検討材料を見つける事が出来た。停留所まで行く事が難しい方にはご自宅の前まで迎えに行くという試みも行う事が出来た。

○月に1度KTSを開催出来た。毎回の参加者は10名以上で月に一回顔を合わせる事が仲間意識の芽生えに繋がり、外出レクも行う事が出来た。また、ケアプラザ祭り等のイベントにボランティアとして参加する事に繋げる事が出来た。

#### (3) 連携・協議の場

○「左近山おでかけワゴン」の活動において、月に1度の協議体とボランティア会議に参加して今後の運行について等の検討に努めた。また、お食事会「ほのぼの会」の送迎も継続出来た。地域のボランティア団体同士が協力して地域住民のために活動してもらえる様に調整する事が出来た。

○CHCの定例会に毎回参加し、状況把握に努めた。地域包括支援センター職員の参加を促し、情報提供する事が出来た。また、区役所や区社協が主催するCHCに関係する講演会等があれば積極的に参加者に広報した。

○一般社団法人おもいやりネットワークに対して区役所・区社協・ケアプラザで関係者会議を開催し、サービスBの意見交換が出来た。サービスBを行うにあたって、必要なマニュアル等を情報提供する事や、日頃から出向き、常に参加者と代表者に関わりが持てる様に努めた。サービスBの地域ケアプラザ意見交換会にも参加し、情報交換が出来た。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

○区役所・区社協・他のケアプラザ等が主催する研修や連絡会に出席し、得た情報を担当地域と関連付けて認識し、生活支援コーディネーター間で共有する事が出来た。

○定期的に区社協の地区担当や1層生活支援コーディネーターと情報交換する事が出来た。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

○老人会・自治会・民生委員児童委員協議会に定期的に出席し、地域資源の把握・掘り起こしや情報共有を行うと共に、地域包括支援センターの役割として相談の窓口である事を認識して頂いた。

○得られた社会資源は項目ごとにファイリングすると共にデータベース ayamu を活用し必要な情報を迅速に引き出す事が出来ている。また、他部署や各関係機関と連携し状況に適した情報の収集が行えている。

○地域の事業や行事に地域包括支援センターとして積極的に参加する事で、協働に向けてのネットワーク強化を図っている。

○市沢地域支え合い事業で行っているボランティア団体のシステム構築の為に、情報提供を行い協力している。左近山では移動支援プロジェクトに参加する事で複数のネットワークを構築し関係機関や地域と協働し要支援者への資源開発に向け検討が出来ている。

○日常の相談から近所の方でお困りの様子が見られるという情報を得る事で、自治会や老人会等地域の方と連携を取り、アウトリーチの実施等により支援に繋げる事が出来た。

#### ②実態把握

○他部署との情報共有や ayamu・地区概況シート・e-stat 等を利用し、区内及び担当圏域の情報収集を行っている。

○各事業におけるアンケート集計や参加者の統計から潜在的ニーズの把握に努め、地域のサークル活動やインフォーマルサービス等の利用に繋げる事が出来た。

○見守り事業の一環として自治会や民生委員と連絡がとれる機会が増えた事で早期に地域から情報の提供を受ける事が出来た。また、個別・地域の実態及びニーズを把握する為、自治会・民生委員等と定期的に情報共有を行えた。

○医療機関での診察時に支援が必要と思われる場合に、すぐに連絡を受け円滑な支援に繋がっている。また、定期的に老人会、食事会、民生委員協議会、支えあいネットワークに定期的に出席をする事で、インフォーマルサービス等の資源の把握をすると共に、お困りの様子が見られる方がいるという情報を得てその後の支援に繋げる事が出来た。

○地域ケア会議（個別レベル・包括レベル）への出席者や地域包括支援事業に参加の方との関係作りが出来た。結果、個別課題・個別ニーズの把握と共に地域ニーズの把握が行えており、地域住民との関係作りの効果が得られた。

### ③総合相談支援

○相談や情報提供があった場合は1件ずつ相談票にまとめ、過去のデータを確認しながら各資源の情報提供を行い相談者及び本人の潜在的・顕在的ニーズの把握に努めた。相談内容に合わせ、区役所や関係機関との情報共有と早急な訪問を行い状況の確認を行っている。相談内容としては高齢者介護についてが、大半を占め早急にサービスが必要と思われる場合は、地域資源を活用すると共にケアマネジャーと連携して切れ目のない迅速な対応が可能になる様に努めた。

○相談では、高齢者だけではなく障害者等の相談も状況に応じて対応し情報提供を行っている。行政、病院、診療所、民生委員、ケアマネジャー、他福祉事業所との連携・協働に努めた。サービスに繋がらない場合は定期的な訪問や電話確認を行う事で安否確認をし、柔軟で迅速な対応を行った。日頃の相談では支援内容により必要な事業所等に速やかに連絡をとって支援に繋いでいる。相談内容及び相談者の状態により、ケアプラザ事業や地域のサークルへの参加、スポーツセンターの利用を促し介護予防の必要性を伝えると共に利用へと繋ぐ事が出来た。

○長期に渡る困難ケースでは、区役所・民生委員・地区社協の方々・地域住民も交えて頻回に連絡を取ると共に継続的な訪問を重ねて支援に努めた。介護保険に繋がらないケースにおいては職員間での情報共有を行うと共に継続的な関わりを持つため一覧としてファイリングを行っている。また、状況確認の際には地域包括支援センター職員間交代で見守り当番を行い、介護サービス導入前には地域包括支援センター職員で部屋の掃除やゴミ出し等を行う事で環境を整えケアマネジャー事業所・サービス事業所に繋いでいる。これにより円滑な支援体制を構築し、継続的なフォローが行えるよう努めた。

## （２）権利擁護業務

### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

5月に税理士・行政書士による地域住民向けの講演会（相続・税金・成年後見制度）+個別相談会をケアプラザにて実施した。地域住民22名が参加し、相続や税金、成年後見制度の基礎知識の他、エンディングノートの活用方法・基礎知識を学ぶ良い機会となった。個別相談の時間及び個別相談ブースを設ける事で、普段接する事のない専門家に直接話を聞く事の出来る機会を作り、現在及び将来について考えるきっかけとなる様な取り組みが行えた。また、税金を内容に入れる事で40～50歳台前後の若い層の方にも参加をして頂けた。

○11月に消費生活推進委員による地域住民向けの消費者保護講演会+座談会を企画・実施し、消費者被害の実態や手口・対応方法・クーリングオフの手続き等について学ぶ事ができる機会を設けた。地域住民9名が参加。寸劇と参加者の実体験を交えた座談会を通し消費者被害・消費者保護への意識を高める良い機会となった。

○老人会や自治会、各事業において消費者保護の普及啓発を行うと同時に相談窓口としての各機関を知ってもらう様に努めた。また、参加者の多い事業に消費生活推進員の方をお呼びする事で、内容に変化を持たせ印象に残るものとする事が出来た。



○ケアプラザ広報紙や地域の食事会、各事業、自宅訪問時などで定期的に成年後見制度、消費者保護、悪徳商法についての情報提供・注意喚起が行えた。今後も継続していく。

○相談者には地域包括支援センターの紹介カードを配布して相談を受ける職員を分かりやすくしている。このカードによって消費者被害や不審な訪問者への対応が困難な方に対しての被害の抑止力となる様にも活用する事が出来た。

○成年後見制度の利用が必要と思われるケースについて、本人、ケアマネジャー、区や各機関と連携を取りながら情報収集を行うと共に、本人・親族の制度の適切な理解に繋がる様に、手引き等の資料がすぐに提示できる様に準備を行っている。状況によっては司法の専門家などに繋がる様に努め、本人にとっての最善の選択が出来る様に支援する事が出来た。

## ②高齢者虐待への対応

○他機関との情報共有の場において、虐待防止・早期発見への協力が得られる様に虐待への理解を深めて頂ける様に普及啓発を行った。

○ケアマネジャー、区や関係機関との情報共有を行い、権利侵害・虐待の予防・早期発見に向けネットワークの形成等、適切な動きを取る事が出来た。

○虐待の疑いがある相談を受けた際は、地域包括支援センター職員、行政やサービス事業者とも連携を取り情報を共有すると共に担当者会議を行う事で早期発見と課題の共有し、本人（被虐待者・虐待者の両者）にとって最善の支援の方向性が見いだせる様に努めた。

○本人・家族との面談を重ねる事で信頼関係を築き、解決策を導き出せる様に支援を行う事に努めた。緊急を要すると判断した場合には行政や各関係機関と連携を図る事で市町村権限行使の検討や、迅速なショートステイ等の利用に繋げる事が出来た。

## ③認知症

○認知症予防として、脳トレ教室・スクエアステップ教室・音楽療法などの教室を行っている。参加者が継続して参加出来る様に関わりを持つ事を心がけ、欠席時は電話をして様子を伺う等関係性作りに努めている。各関係機関（入所施設・ケアマネジャー・他部署）や職員間で情報共有を図る事が出来た。

○地域の医療機関より、診断時に認知症の疑いがある場合は本人、家族の了解後、地域包括支援センターに連絡を頂き、早期に連絡・訪問等を行って支援に繋げる様に連携を図る事が出来た。認知症に関する講演会を地域の医療機関に依頼する事で、地域の方々に認知症の正しい理解の普及啓発が行えた。

○認知症サポーター養成講座を地区社会福祉協議会と共催でアルツハイマーデーに合わせ開催出来た。地域の福祉拠点を活用して行うと同時に寸劇で分かり易く事例の紹介を行う事で、地域の福祉事業所、民生委員、ボランティアの方を含む、広く地域住民の方に親しみやすい認知症に対する普及啓発を行った。

○他地域ケアプラザと共に郵便局員向けの認知症サポーター養成講座を開催し、実際の業務で起こりうる状況への対応方法を含め認知症の理解を深めて頂く事が出来た。また今後、各ケアプラザ担当エリアの郵便局を対象とした認知症サポーター養成講座

を開催して行ける様に協力体制をとる事が出来た。

○SOSネットワーク協賛店への定期訪問を通して、認知症の方の見守り体制の強化と、認知症の方の地域における生活状況の把握を行う事が出来た。

○認知症初期集中支援チーム会議へ出席する事で地域の情報収集が行えた。またケースに関する相談を行い、チームとの円滑な連携が出来る様に情報共有を行った。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

○市沢、左近山地区民生委員児童委員協議会とケアマネジャーの交流会で事例検討を行う。精神障害があろうと思われる家族と暮らす高齢者支援で、家族がいる事で支援が進みにくく、地域の支援も必要と思われる事例を検討し、双方で何が出来るかを考える機会を作る準備をした。医療法人誠心会地域連携統括部長にアドバイザーとしてご協力頂く手配をし、精神的疾患のある人への対応をアドバイス頂けるようにした。

○ケアマネジャー連絡会を開催し、勉強会を中心に実施。ケアマネジャー同士の交流と連携を図る事ができ、情報共有の場にもなった。

○相談者には積極的に地域包括支援センター3職種の写真の付いたカードを配布した。認知症がありそうで詐欺被害にあいそうな独り暮らしの高齢者のお宅では、玄関にカードを飾る様にアドバイスした。

○ケアプラザエリア内になる地域密着型事業所の代表者に声を掛け、6月に連絡会を行った。小規模事業所の苦悩や事業対象者の対応の話ができ、情報共有する機会になった。

○生活支援コーディネーターと更新作業をした元気づくりマップを地域住民やケアマネジャー相談のインフォーマルサービス紹介に使用した。

○左近山789街区で継続して行われているあいさつ運動に参加した。また、自治会で開催している茶話会に参加する事で、地域住民に地域ケアプラザを身近に感じて頂ける様になった。

○昨年度から参加している一部の自治会で行っている「すべての住民の状況把握」にはケアプラザも参加しており、民生委員が担当するエリアの高齢者を中心に住民すべての状況を把握する為に訪問を行い、確認できない場合等段階を追って地域包括支援センターが訪問し状況把握に協力する体制を作った。しかし、今年度半ばから話し合いが進まなくなっているため、引き続き行われるように声をかけている。このことを受けて、左近山民生児童委員協議会に年末から参加するようにし、全民生委員からの相談を受けやすい様にしてきた。

○地域包括支援センターで行っている事業でアンケートを取り、個人のニーズを知る事が出来ている。この様に、すでにあるツールからも地域ニーズが把握出来る事が分かった事を地域活動交流、生活支援コーディネーターと共有した。

○地域住民向けに話をするときには、介護予防や日常生活支援・総合事業にまつわる話をしてきているが、事業を交えた紹介がわかりやすく理解が得られた。

## ②医療・介護の連携推進支援

- 1月開催の多職種連携会議に向けて旭区在宅医療連携室の協力を得て開催した。内容は、担当エリア内の医師、訪問看護、薬局、病院相談員、ケアマネジャーを対象に事例検討を行った。
- 医療関係事業所と居宅介護支援事業所を月に1度訪問、または来所されるケアマネジャーの相談や挨拶をする事で顔つなぎを行っている。
- 協力医による健康相談会を10月より開始した。月に2回開催し、誰でも相談できる体制を作った。

## ③ケアマネジャー支援

- 鶴ヶ峰地域包括支援センター及び白根地域包括支援センターとの合同ケアマネジャー連絡会を5回実施。
  - 第1回 「薬についてもっと詳しくなろう」 参加者24名  
講義のポイント：薬剤師より睡眠薬の使い方、かかりつけ薬局、ジェネリック医薬品についての講義を行った。薬局とケアマネジャーが連携する事で、薬の副作用がある利用者の対応が出来る事を確認できた。薬についてやかかりつけ薬局の事について、勉強になったと感じ、今後の業務に役立つと感じて頂けた。
  - 第2回 「事例検討」 参加者28名  
講義のポイント；ALSの方の支援について野中式事例検討を行った。参加したケアマネジャーは医療との関わりを苦手とする方も多く、難病の対応になると経験が少なく、不安に思っている方が多くいた。事例検討を通して考え方を学ぶ事が出来た。
  - 第3回 「サービス付き高齢者向け住宅について」 参加者21名  
講義のポイント；サービス付高齢者向け住宅の現状を知り、施設の見極め方や、注意する点を知る機会になった。
  - 第4回 「精神障害のあられる方の支援」 参加者26名  
講義のポイント；精神障害のある方への対応や遅発性パラフレニーという状態について学び、参加者の質疑応答に対しては、講師から具体的な対応を学ぶ事が出来た。
  - 第5回 「介護予防ケアマネジメント」参加者33名  
講義の目的：ケアマネジャーに対する介護予防ケアマネジメント研修。
- 左近山地域包括支援センター単独で「民生委員とケアマネジャーの連絡会」を2月に開催し、37名の民生委員とケアマネジャーに参加していただき事例検討を行った。内容；精神障害があろうと思われる家族と暮らす高齢者支援についてのケースを検討する。
- 旭ケアマネット運営委員会には下半期に参加。区内地域ケアプラザの主任ケアマネジャーが交代でアドバイザー的な参加をしてきた。
- ケアマネジャーからの相談には電話や来所を中心に随時対応が行えた。相談の中には障害を持つ家族と暮らす方の事例や、認知症独居の対応等があった場合は、同行訪問やサービス担当者会議の開催を支援し、利用者のニーズに対応できる地域の支援（インフォーマルサービス）を検討し紹介してきた。個別ケース地域ケア会議に繋げた事例では、ケアマネジャーと地域を繋げ、各々で把握していたケースを一致させ連携が取れる機会になった。
- 新任ケアマネジャー研修は旭区内主任ケアマネジャー合同で年に2回（9月、2月）開催し、個別研修で2名を受け入れ、ケアマネジャーの要望に合わせて介護予防プランの作成についての基本的な考え方やポイントを伝える研修を行った。

○旭区包括主任ケアマネジャー合同で「旭区主任ケアマネジャー交流会」を7月に開催し、24名が参加した。他の主任ケアマネジャーと情報共有ができ、知り合う事ができ、ネットワーク構築のひとつになった。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

以下の日程で地域ケア会議を開催した。

第1回 7月23日(月) 11名参加 (左近山地区個別レベル2件)

- ① 転倒し自力で起き上がれなかった事がある。介護保険を利用しての支援には強い拒否がある。関わりのあるボランティアヘルパーが本人を外に誘い出す事を検討した。本人・家族と地域との関係を確認する事が出来た。
- ② 一人暮らし。意欲の低下があり、外出しないため地域との繋がりがなくなっている。ヘルパーが訪れた時はカーテンを開けるなどし、気分転換が図れるようにし、ケアプラザの事業にも誘い出す事を決める。本人の状況を共有する事で民生委員や利用サービス関係者間での役割分担と課題の抽出が行えた。

第2回 8月16日(木) 12名参加(左近山地区個別レベル)

認知症のある夫婦と無職の長男の3人で暮らし。見えないものが見える、話した事を忘れてしまうなど認知機能に不安ある。夜間に大声を出したり、目的もなく人の家のブザーを鳴らすなど問題となる行動もみられている。自宅内はほぼごみ屋敷で、夫は車いすを必要としているが自宅内には物が多くて使えない。長男はこの中でも平然と暮らしており、夫婦の支援について説明するが理解力が乏しい。車いすが使える様に物を片付け、長男が現状を理解して介護に携わる様にするにはどうしたらいいかを検討した。

第3回 8月30日(木) 19名参加(市沢地区個別レベル2件)

- ① 未婚で独居。認知症状の進行が目立っており、物が取られた・近所の人が入ってくるなど「被害を受けている」と訴える。一人での通院や内服が困難、洗濯などの家事も出来なくなってきた。地域包括支援センター、ケアマネジャー、民生委員、あんしんセンターがそれぞれ把握していた現況を、関係者間で確認することができた。それを地域の自治会関係者やボランティアグループにも知ってもらう事で、地域で出来る事と、出来ない事を確認し合え、意見交換する事が出来た。
- ② 独居。金銭的な搾取を疑い、区を通して長男に相談するがあまり協力は得られない。本人は自宅での生活を希望している。地域の中に把握されていない場所と住民がいることを参加者が確認した。また、検討中は関われないという考えも出たが、最後には目をつむってはられないという考え方に変わっていった。

第4回 8月30日(木) 19名参加 (市沢地区包括レベル)

個別ケース地域ケア会議により、一人暮らしでありながら認知症により、判断能力が衰え、生活がままならなくなっている住民がいる事がわかった。この様な見守りの必要な人に対して地域は何が出来るのかを検討し、地域の課題から、①顔の見える関係から声を掛け合える関係 ②地域に認知症等の理解をしてもらうために講座を積極的に行う ③地域課題を一つずつ解決していく。といった基本的な取り組みが話し合われた。

第5回 10月2日(金)8名参加(左近山地区個別レベル)

8月16日に開催したケースのその後を検討。

家族の協力体制や生活課題など個々では家族から引き出せなかった情報の共有が行え、地域の交流拠点を利用することで家族全体が地域と関わることができないか、など様々な提案がなされた。

第 6 回 12 月 21 日(金) 13 名参加(市沢地区個別レベル)

8 月に行ったケースの経過報告とこれからの対応について話しあわれた。地域包括支援センター、ケアマネジャー、民生委員、あんしんセンターがそれぞれ把握していた現況を、関係者間で確認。それを地域の自治会関係者やボランティアグループにも知ってもらう事で、地域で出来る事と出来ない事を確認し意見交換する事が出来た。今後継続的に情報共有をする為に担当者会議の開催に際して、地域関係者への参加の声掛けを行っていく事で合意出来た。

第 7 回 12 月 21 日(金) 11 名参加(市沢地区包括レベル)

地域で立ち上がった CHC(ちよこつとボランティア団体)は 50 名近くのメンバーがおり、市沢には地域を良くしようと一生懸命考えている人がいる。この地域で見守りの必要な人に対して何が出来るか。そしてメンバーが認知症を正しく理解する為にはどうすれば良いかを検討。市沢地区社会福祉協議会と合わせて勉強会開催への道筋を作る事が出来た。勉強会は 30 年度中に実施を予定するところまで話が進んだ。

第 8 回 1 月 29 日(火) 34 名参加(多職種連携会議個別レベル)

高齢夫婦と知的障害のある娘の家族。夫婦には認知症があり話の理解が時々困難。長男と孫から金銭の要求がある度に仕送りをしており余裕はなく、介護の介入を拒む傾向にある。現在は福祉用具のみ利用。利用料の滞納がある。野中式の実施により参加者全員から意見を聞く事ができ、本人たちの訴えのみがニーズではないことを参加者で共有。医療面でのリスク等、専門職の視点からの検討もできた。

○横浜国大が団地の問題としてヒートショックによる突然死を防ぐ事を研究しており、左近山団地で実証実験を行っている。これをケアプラザの所長、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターで見学をし、地域課題として取り上げ地域ケア会議を通して地域で考える場を設ける事を検討した。

○昨年度から継続して地域で行っている月 2 回のあいさつ運動に参加。地域福祉拠点で行っている認知症カフェで介護予防教室を開催し、地域福祉拠点を中心としたネットワーク作りに関わっている。ケアプラザの関りがある事で参加者は安心して参加する事が出来ている様子が伺えた。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第 1 号介護予防支援事業)

##### 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第 1 号介護予防支援事業)

○要支援者のサービス導入に当たり、現在の生活が維持向上出来る様に利用者様と話し合いながら丁寧にアセスメントを行った。目標を持つ必要性を説明しながら意欲を引き出し、明るい表情になれるようにその人らしい目標が見つかるまでとことん話合った。担当職員とふたりで話し合っただけで立てた目標だからと頑張っている姿を見る事が出来、その目標を達成した方はステップアップした次の目標を立てる事も出来ていた。

○ケアプランには体操教室への参加等サークル教室や食事会なども情報提供して盛り込んでいる。定期訪問時は、心身等の状態把握・評価を行いながらサービス内容の検討を行った。症状が改善されてサービス利用がなくなった場合は、介護保険外のサービスやその方に合った介護予防教室への参加を勧めている。

○委託のケアマネジャーに、介護予防ケアプランの中に盛り込んで頂ける様に、地域包括事業を紹介して見学や体験などをすすめた。また、サービス担当者会議でも再度利用者に情報提供し、意欲を高めて頂く様に説明させて頂いた。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

○介護予防の取り組みとして今年度も8回シリーズで『元気アップGO!GO!』を行った。理学療法士より、骨粗鬆症と筋力低下、肩コリと腰痛対策等、高齢者が興味関心の高い内容で実技を交えて講義を行って頂いた。歯科衛生士による口腔ケアは赤染め液で日頃の磨き残しや唾液成分のチェック、栄養士にはロコモ予防や筋力アップについて学習した。介護予防についての話や個別相談も実施。今回も20名前後の参加で数名ずつグループに分かれ、今回は初めて男性だけのグループも試みた。顔見知りになって会話が弾み、笑顔がみられて仲間作りも出来た。運動や口腔ケア、食事など実践しているとはつらつした声が聞かれた。講師の方から、グループでの受講はお互いに会話が弾み楽しそうでやりやすいという意見を頂いた。終了後、参加者には体操教室などへの参加を呼びかけて、外出の機会が継続される様に働きかけた。

○老人会等に出向いて介護予防についてパンフレット等を用いて説明をさせて頂いた。介護保険に関する質問などが増え、年々地域住民の健康に対する意識が向上している事を実感出来た。

○地域包括事業から自立して運営している「長月会」「楽しく体操」「ミュージックタウン」など虚弱な方の参加が多い教室や退会する方が出ている教室には、職員が介入して継続支援を行った。地域に出向いた時に呼びかけたり、相談を受けた時などに紹介したり、ケアプラザ通信に載せたりして呼びかける事で、長月会は20数名の増員に繋がった。

○閉じこもり予防として高齢者を対象にした「シネマカフェ」「レコードカフェ」を継続して行った。「シネマカフェ」は、今年は新規の受け入れを優先した。6割の方が新規で参加され外出の機会を増やすきっかけを作る事が出来た。特別枠を設けて相談の方の参加も受けた。上映前に消費者被害・権利擁護・介護予防のビデオ上映を行って介護予防の啓蒙・啓発活動を行なった。アンケートを実施した結果、介護予防に対して必要性を感じて興味を持った方、身体を動かしてみようと思った方がほとんどだった。興味を持った方に直接連絡をして参加を促す事が出来た。地域住民に興味を持って頂く目的で、昨年はダンス教室の講師が指導する、ダンスの要素が少し加わった体操教室を立ち上げ、20名弱の方が参加されている。自立したサークルの中で認知症予防を目的とした教室があり、軽度認知症がある方の受け入れをスムーズに行って頂ける様に連携を取り、楽しく参加して頂いている。また、来年度へ向けた新規介護予防事業としてボールを使った運動教室を今年度に試行開催するため、関係者と準備を進める事が出来た。

## 5 その他

## 以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### (1) 施設の維持管理について

ケアプラザは公共の施設である為、施設全体を専門性の高い業者に年間計画を提出させ管理している。特に利用者がよく利用する自動ドアやエレベーターの安全管理、空調設備、消防設備も同様に安全管理を行った。

施設内では、館内はいつも不特定多数の地域の方が利用する為、使用の仕方によって不具合が生じてしまうことがあり、不具合の箇所を職員やご利用者が発見した場合は速やかに修繕することを周知徹底した。

#### (2) 効率的な運営への取組について

消耗品等については無駄が生じないように日々徹底し、取り扱いに注意を払うよう指導を行い、職員への意識付けを行った。

また、資源に関しての節約の意識を持つよう、職員に対し朝・夕のミーティングにて啓発を行い、来館者へも掲示や口頭、貸館利用説明会などで、節電・節水の呼びかけを行った。

#### (3) 苦情受付体制について

サービスに対しての苦情は、適切に対応し円滑・円満に解決する為に、相談員の心構え及び留意事項を苦情処理マニュアルに定めている。

苦情受付担当者を明確にする為に、利用者からの苦情受付処理・苦情受付者・苦情解決体制図を貼り出し、利用者にとって分かりやすい環境を整えた。

また、第三者委員を設置し、早期の不満解消・苦情解決に助言をいただける様、受けた苦情の報告を行い、迅速に解決に向けて行動できる体制をつくった。

また、日頃より利用者から苦情を頂かない対応を心掛け、利用者との良好な関係性、信頼性をつくるコミュニケーションや対応に努めた。

#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

日常的な防犯については、不特定多数の出入りするケアプラザにおいて、全ての人に挨拶を心掛け、不審者が入りづらい環境を作っている。また貴重品や個人情報ファイルは、利用者の目に触れないよう保管庫に収納し、扉には施錠をしている。

防災については、ケアプラザ内で防災委員会を立ち上げ、訓練の内容を検討し実施し、備蓄についても定期的にチェックを行い、必要と感じる備品については検討購入をした。

ケアプラザは要援護者の福祉避難所となっている為、その役割を職員一人一人が理解すると共に、災害が発生した時は行政からの要請で要援護者を受け入れる他、直接ケアプラザに避難する人の対応等も検討している。

防災訓練は、年に3回法人全体で無線を駆使し、訓練を実施した。無線を利用する事で、各施設の状況把握ができ、各施設同士が助け合う環境となっている。訓練はケアプラザ利用者も含め、全員参加を基本とし行った。

#### (5) 事故防止への取組について

事故防止については、職員一人一人が事故防止マニュアルを熟知し、事故を起こさない対応をし、事故を未然に防ぐ事が出来た。

法人内、他施設で事故が起こった場合、事故防止委員会主催による研修を、職員全員を対象として開催し、情報の共有、再発防止に努めている。万が一事故が発生した場合は、災害発生レベルと同等の扱いとし、事故対応マニュアルに沿って迅速な対応を心掛けている。

又、事故報告についても迅速に関係機関へ報告が出来た。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

職員は、日々業務の中で多くの個人情報を取り扱っている。職員の感覚が麻痺し、個人情報の取り扱いをおろそかにすることなく、横浜市個人情報の保護に関する条例の重要性を理解した上で、職員は行政への個人情報保護の誓約書も提出している。

その他法人の取扱い要綱を遵守し、適正な取り扱いに努めている。

ケアプラザ内では適正な管理を行うよう個人情報保護マニュアルを整備し、職員への周知徹底を行った。

また、法人内研修において、社会的にニュースになっているような事例を通じての研修を実施している。

研修会を通じて、個人情報保護やプライバシー保護についての共通認識を高めている。



(7) 情報公開への取組について

法人全事業所の事業計画・事業報告をケアプラザ情報コーナーに配置し、ホームページからも確認できるようにし、常に更新している。

また、毎月発行する広報紙にて各種イベントや活動案内等を掲載して、関係機関、自治会・町内会掲示板、回覧板を通じ情報の公開を行った。

老人会や高齢者食事会等、地域住民が集まる場所に積極的に出向くことにより、消費者被害防止等の地域住民に有益な情報を定期的に情報発信した。

又、今年度は横浜市指定管理者第三者評価制度を実施し結果について公開した。

(8) 人権啓発への取組について

『人は生まれながらにして平等の人権を有し、互いに人権を尊重する』事をモットーとして、全職員対象とした『サービスマナー』の研修において、人権啓発を内容に取り入れ、考えるきっかけ・行動するきっかけにしている。

特に、地域で活動する地域活動交流事業や地域包括支援センター運営事業・生活支援体制整備事業の職員では、言葉や態度・対応に差別的な事がないかを管理者が定期的にチェックを行った。

(9) 環境等への配慮及び取組について

ヨコハマ3R夢（スリム）プランについて、職員は分別表に従い厳格に分けてゴミ類を処分し、特にプラスチック容器は、汚れたまま燃えるごみに捨てるのではなく、洗ってプラスチック容器として出す様心掛け、ゴミを燃やして発生する温室効果ガスを増やさないよう努めた。また、出来るだけ使い捨ての物を使わない様、職員一人一人が日常的に心掛けている。施設利用者に対しても、ゴミの分別の徹底や持ち帰りをしていただくよう掲示や声かけを行っている。

市内中小企業優先発注については、出来る限り地元の企業を優先的に声かけするよう心掛け、障害者就労施設からは、出来る限りケアプラザの自主事業で使用する必要物品等を購入するようにした。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

看護師 1名、社会福祉士 2名、主任ケアマネジャー 1名（以上、地域包括支援センターとの兼務）、介護予防支援専門員 1名

#### 《目標に対する成果等》

○それぞれの専門性を活かしながら、3職種と介護予防支援専門員が連携して介護予防支援業務に取り組むことができた。また、要支援者のみならず、要支援・要介護の非該当者までの連続的で一貫したケアマネジメントを実施した。

事業対象者と要支援者に対してサービス B を活用した自立支援にむけたマネジメントも行った。

○要支援者のサービス導入に当たり、現在の生活が維持向上出来る様に利用者様と話し合いながら丁寧にアセスメントを行った。目標を持つ必要性を説明しながら意欲を引き出し、明るい表情になれるようにその人らしい目標が見つかるまでとことん話し合った。担当職員とふたりで話し合っただけで立てた目標だからと頑張っている姿を見る事が出来、その目標を達成した方はステップアップした次の目標を立てる事も出来ていた。

○ケアプランには体操教室への参加等サークル教室や食事会なども情報提供して盛り込んでいる。定期訪問時は、心身等の状態把握・評価を行いながらサービス内容の検討を行った。症状が改善されてサービス利用がなくなった場合は、介護保険外のサービスやその方に合った介護予防教室への参加を勧めている。

○委託のケアマネジャーに、介護予防ケアプランの中に盛り込んで頂ける様に、地域包括事業を紹介して見学や体験などをすすめた。また、サービス担当者会議でも再度利用者に情報提供し、意欲を高めて頂く様に説明させて頂いた。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の負担をお願いしています。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

住み慣れた地域で暮らしていくために、インフォーマルを含めた地域資源も活用した総合的なケアマネジメントをすすめていくことができました。

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
193	198	198	207	196	202
10月	11月	12月	1月	2月	3月
213	218	224	221	225	222

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 介護支援専門員 4名（常勤専従2名 常勤兼務1名 非常勤専従1名）

《目標に対する成果等》

- ・ ご利用者様の心身の状況に応じ、住み慣れた地域での生活が継続していけるよう利用者や家族の選択に基づき、適切なサービスが受けられるような支援をすることが出来た。
- ・ 複数の事業者の特徴を説明し、利用者や家族の選択のもと、公正中立な立場で支援をすることが出来た。
- ・ 運営基準に従い関係機関と連携を取り、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援が出来た。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 実費負担徴収なし。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 地域包括支援センターが併設されているため、地域に根ざした居宅介護支援を継続的に行い、区行政との連携も密に図ることが出来た。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
108	103	104	105	101	103
10月	11月	12月	1月	2月	3月
109	114	111	109	113	109

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 個別機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1割負担分		2割負担分	
（要介護1）	674円	1,348円	
（要介護2）	796円	1,592円	
（要介護3）	921円	1,842円	
（要介護4）	1,048円	2,096円	
（要介護5）	1,174円	2,348円	
●食費負担	900円		
●入浴	54円	（1割負担） 108円	（2割負担）
●個別機能訓練Ⅱ	60円	（1割負担） 120円	（2割負担）
●サービス提供体制加算	7円		

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9：30～16：30

《職員体制》

- ・ 管理者 1名
- ・ 相談員 2名（専従1名・兼務1名）
- ・ 介護員 15名
- ・ 看護師 4名
- ・ 運転手 4名
- ・ 機能訓練指導員 4名（専従1名・兼務3名）

《目標に対する成果等》

介護保険などの関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営む事が出来る様に通所介護サービスを提供した。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

個別機能訓練の他に、在宅生活を継続して頂くために生活支援プログラムを実施している。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
888	949	915	923	877	879
10月	11月	12月	1月	2月	3月
906	856	879	800	774	867

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 個別機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分		2割負担分
(事業対象者)	対象者なし	
(要支援1)	1,766円	3,532円
(要支援2)	3,621円	7,242円
●食費負担	900円	
●運動器機能向上	242円(1割負担分)	484円(2割負担分)
●サービス提供体制	(要支援1) 26円	(要支援1) 52円
	(要支援2) 52円	(要支援2) 104円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30~16:30

《職員体制》

- ・管理者 1名
- ・相談員 2名(専従1名・兼務1名)
- ・介護員 15名
- ・看護師 4名
- ・運転手 4名
- ・機能訓練指導員 4名(専従1名・兼務3名)

《目標に対する成果等》

介護保険などの関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営む事が出来る様に通所介護サービスを提供した。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

個別機能訓練の他に、在宅生活を継続して頂くために生活支援プログラムを実施している。

《利用者実績(契約者数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
22	24	25	24	23	22
10月	11月	12月	1月	2月	3月
24	24	25	22	23	22

平成30年度「横浜市左近山地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,604,000	0	14,604,000	14,172,661	431,339	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	344,400	△ 344,400	
自主事業収入			0		0	
雑入	0		0	9,345	△ 9,345	
印刷代	0		0	9,345	△ 9,345	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	18,594,000	0	18,594,000	18,516,406	77,594	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,250,000	0	9,250,000	8,718,460	531,540	
本俸	6,264,238		6,264,238	5,863,250	400,988	
社会保険料	690,272		690,272	659,405	30,867	
手当計	2,141,248		2,141,248	2,051,348	89,900	
健康診断費	64,826		64,826	59,377	5,449	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	89,416		89,416	85,080	4,336	
その他			0	0	0	
事務費	1,946,000	0	1,946,000	1,769,914	176,086	
旅費	28,540		28,540	13,862	14,678	
消耗品費	1,006,499		1,006,499	842,870	163,629	
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費	245,040		245,040	197,605	47,435	
通信費	302,236		302,236	262,633	39,603	
使用料及び賃借料	4,200	0	4,200	4,200	0	
横浜市への支払分	4,200		4,200	4,200	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	293,409	△ 293,409	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	68,212		68,212	56,500	11,712	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料	15,647		15,647	13,210	2,437	
リース料			0	0	0	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	275,626	0	275,626	85,625	190,001	
事業費	222,000	0	222,000	548,954	△ 326,954	
運営協議会経費	42,000		42,000	9,345	32,655	
指定管理料充当 事業	180,000		180,000	539,609	△ 359,609	
管理費	6,436,000	0	6,436,000	4,941,925	1,494,075	
建築物・建築設備点検			0	0	0	
光熱水費	4,191,579	0	4,191,579	3,387,103	804,476	
電気料金	1,228,401		1,228,401	992,638	235,763	
ガス料金	1,251,791		1,251,791	1,011,539	240,252	
水道料金	1,711,387		1,711,387	1,382,926	328,461	
清掃費	514,848		514,848	417,212	97,636	
修繕費	474,000	0	474,000	42,661	431,339	
機械警備費	123,270		123,270	106,071	17,199	
設備保全費	862,436	0	862,436	742,106	120,330	
空調衛生設備保守	280,190		280,190	241,097	39,093	
消防設備保守	46,088		46,088	39,658	6,430	
電気設備保守	361,803		361,803	311,323	50,480	
害虫駆除清掃保守	7,775		7,775	6,690	1,085	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	166,580		166,580	143,338	23,242	
共益費			0	113,682	△ 113,682	
その他	269,867		269,867	133,090	136,777	
公租公課	740,000	0	740,000	697,476	42,524	
事業所税	740,000		740,000		740,000	
消費税			0	697,476	△ 697,476	
印紙税			0		0	
その他 ( )			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	18,594,000	0	18,594,000	16,676,729	1,917,271	
差引	0	0	0	1,839,677	△ 1,839,677	

自主事業費収入			0	344,400	△ 344,400	自主事業への参加料等
自主事業費支出			0	539,609	△ 539,609	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 195,209	195,209	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	4,200	△ 4,200	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	△ 4,200	4,200	

平成30年度「横浜市左近山地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	28,819,000	0	28,819,000	28,347,339	471,661	横浜市より
指定管理料（介護予防）	145,000		145,000	145,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	235,000	△ 235,000	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	4,005	△ 4,005	
印刷代	0		0	4,005	△ 4,005	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）			0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>34,753,000</b>	<b>0</b>	<b>34,753,000</b>	<b>34,520,344</b>	<b>232,656</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>31,103,000</b>	<b>0</b>	<b>31,103,000</b>	<b>36,299,126</b>	<b>△ 5,196,126</b>	
本俸	16,066,612		16,066,612	20,071,154	△ 4,004,542	
社会保険料	3,682,973		3,682,973	4,111,799	△ 428,826	
手当計	10,676,879		10,676,879	11,359,530	△ 682,651	
健康診断費	234,418		234,418	255,013	△ 20,595	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	442,118		442,118	501,630	△ 59,512	
その他			0	0	0	
<b>事務費</b>	<b>775,000</b>	<b>0</b>	<b>775,000</b>	<b>846,283</b>	<b>△ 71,283</b>	
旅費	26,837		26,837	27,696	△ 859	
消耗品費	261,381		261,381	193,938	67,443	
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費	117,755		117,755	101,215	16,540	
通信費	221,412		221,412	199,364	22,048	
使用料及び賃借料	4,200	0	4,200	4,200	0	
横浜市への支払分	4,200		4,200	4,200	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0	95,385	△ 95,385	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	56,500	△ 56,500	
職員等研修費			0	64,000	△ 64,000	
振込手数料	28,034		28,034	18,360	9,674	
リース料			0	0	0	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	115,381	0	115,381	85,625	29,756	
<b>事業費</b>	<b>1,164,000</b>	<b>0</b>	<b>1,164,000</b>	<b>731,673</b>	<b>432,327</b>	
協力医	630,000		630,000	273,000	357,000	
指定管理料充当 事業（包括）	80,000		80,000	272,631	△ 192,631	
指定管理料充当 事業（介護予防）	145,000		145,000	150,783	△ 5,783	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	35,259	273,741	
<b>管理費</b>	<b>1,711,000</b>	<b>0</b>	<b>1,711,000</b>	<b>1,313,663</b>	<b>397,337</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	1,114,343	0	1,114,343	900,369	213,974	
電気料金	326,573		326,573	263,866	62,707	
ガス料金	332,792		332,792	268,890	63,902	
水道料金	454,978		454,978	367,613	87,365	
清掃費	136,868		136,868	110,901	25,967	
修繕費	126,000		126,000	11,339	114,661	
機械警備費	32,770		32,770	28,195	4,575	
設備保全費	229,273	0	229,273	197,261	32,012	
空調衛生設備保守	74,486		74,486	64,086	10,400	
消防設備保守	12,252		12,252	10,541	1,711	
電気設備保守	96,183		96,183	82,754	13,429	
害虫駆除清掃保守	2,057		2,057	1,778	279	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	44,285		44,285	38,102	6,183	
共益費			0	30,220	△ 30,220	
その他	71,746		71,746	35,378	36,368	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>34,753,000</b>	<b>0</b>	<b>34,753,000</b>	<b>39,190,745</b>	<b>△ 4,437,745</b>	
差引	0	0	0	△ 4,670,401	4,670,401	

自主事業費収入	0		0	235,000	△ 235,000	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	458,673	△ 458,673	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 223,673	223,673	

管理許可・目的外使用許可収入			0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0	4,200	△ 4,200	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	△ 4,200	4,200	

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市左近山地域ケアプラザ

平成30年4月1日~平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	6600	8495	-1895	19500	18997	503	95082	104239	-9157	10967	12023	-1056
	その他	0	0	0	0	0	0	3500	624	2876	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費			0			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0	3500	624	2876			
	<b>収入合計(A)</b>	6600	8495	-1895	19500	18997	503	98582	104863	-6281	10967	12023	-1056
支出	人件費	4413		4413	13038	23153	-10115	63573	63489	84	7333	7322	11
	事務費	811		811	2398	2737	-339	11691	4488	7203	1349	517	832
	事業費	642		642	1896	90	1806	9243	11016	-1773	1066	1271	-205
	管理費	363		363	1073	0	1073	5233	7226	-1993	604	833	-229
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0			0			0
	<b>支出合計(B)</b>	6229	0	6229	18405	25980	-7575	89740	86219	3521	10352	9943	409
	<b>収支 (A)-(B)</b>	371	8495	-8124	1095	-6983	8078	8842	18644	-9802	615	2080	-1465



# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
KTS (健太郎と楽しくしゃべろう)	誰でも(メインは高齢者)	0	地活						
	172名		包括						
	(200円)		介護						
			生活	0	0	0	0	0	
シネマファンカフェ	地域	2352	地活						
	18名		包括	2352	0	0	0	0	2352
	なし		介護						
			生活						
市沢スクエアステップ	地域	0	地活						
	126名		包括	0	0	0	0	0	0
	(500円)		介護						
			生活						
シネマカフェ	地域	19321	地活						
	85名		包括	2321	17000	0	0	0	19321
	200円		介護						
			生活						
ケアマネ・民生委員交流会	ケアマネジャー・民生委員	0	地活						
	37名		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		介護						
			生活						
地域包括支援連絡会	ケアマネジャー・医療関係者	8110	地活						
	28名		包括	8110	0	0	0	0	8110
	なし		介護						
			生活						
認知症講演会	地域	254	地活						
	24名		包括	254	0	0	0	0	254
	なし		介護						
			生活						
消費者被害防止講演会	地域	570	地活						
	8名		包括	570	0	0	0	0	570
	なし		介護						
			生活						
認知症サポーター養成講座	地域	0	地活						
	90名		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		介護						
			生活						
協力医講演会	地域	0	地活						
	0名(企画変更)		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		介護						
			生活						
脳トレ教室	地域	177447	地活						
	250名		包括	2447	175000	0	0	152150	25297
	2500円		介護						
			生活						
笑顔の会	地域	3232	地活						
	45名		包括	3232	0	0	0	0	3232
	なし		介護						
			生活						

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
ミュージックタウン	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	132名		包括					
	(500円)		介護					
			生活					
レコードカフェ	地域	46,162	地活	3,162	43,000	0	0	0
	235名		包括					
	200円		介護					
			生活					
ケアーズカフェフォローアップ／あいさつ運動	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	120名		包括					
	なし		介護					
			生活					
認知症予防トレーニング	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	174名		包括					
	なし		介護					
			生活					
楽しく体操	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	106名		包括					
	なし		介護					
			生活					
ほっと体操	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	292名		包括					
	なし		介護					
			生活					
ケアマネ連絡会	ケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0
	129名		包括					
	なし		介護					
			生活					
なんでも会	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	73名		包括					
	なし		介護					
			生活					
健康吹き矢フォローアップ	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	0名		包括					
	なし		介護					
			生活					
相続と税金講演会	地域	11914	地活	11914	0	0	11137	0
	22名		包括					
	なし		介護					
			生活					
ボールde元気	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	29名		包括					
	なし		介護					
			生活					
ペタンク交流会	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	20名		包括					
	なし		介護					
			生活					

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ケアプラザ祭り介護予防教室体験	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	79名		包括						
	なし		介護						
			生活						
地域密着型事業所連絡会	施設関係者	1464	地活	1464	0	0	0	0	1464
	8名		包括						
	なし		介護						
			生活						
実になる体操	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	63名		包括						
	なし		介護						
			生活						
喫茶みっかぼーず	地域	34556	地活	356	34200	0	0	34556	0
	173名		包括						
	200円		介護						
			生活						
親子で体操 すてっぷ	未就園児親子	46812	地活	22212	24600	0	40092	0	6720
	244名		包括						
	200円		介護						
			生活						
親子でリズム 1・2☆ジャンプ	園児親子	42351	地活	29151	13200	0	36751	0	5600
	153名		包括						
	200円		介護						
			生活						
ママ改造計画 SASA☆GAGAスクール	子育て世代	70218	地活	25818	44400	0	60138	0	10080
	241名		包括						
	300円		介護						
			生活						
精神障害者地域交流促進事業 てっぱん	精神障害者・地域	59852	地活	18052	41800	0	0	51861	7991
	77名		包括						
	100・200・400円		介護						
			生活						
障害児余暇支援 親子できしゃぼぽ	障害児小中学生親子	17327	地活	527	16800	0	2750	9597	4980
	64名		包括						
	500円/親子・100円/兄弟		介護						
			生活						
左近山ふれあい寄席	地域	45094	地活	27394	17700	0	40094	0	5000
	59名		包括						
	300円		介護						
			生活						
ギターの調べ	地域	17818	地活	4618	13200	0	17818	0	0
	66名		包括						
	200円		介護						
			生活						
親子であそぼう けあぶらんど	未就園児親子	13120	地活	13120	0	0	0	0	13120
	180名		包括						
	無料		介護						
			生活						

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
初めての俳句	地域	36736	地活	136	36600	0	33410	3326	0
	141名		包括						
	300円		介護						
			生活						
まち散歩	地域	15830	地活	10030	5800	0	11136	0	4694
	29名		包括						
	200円		介護						
			生活						
おおなべ大会	地域	12461	地活	9011	3450	0	0	12461	0
	75名		包括						
	50円		介護						
			生活						
ケアプラザ芸術会	地域	13242	地活	3592	9650	0	0	13242	0
	約100名		包括						
	無料・一部実費		介護						
			生活						
ケアプラザ祭り	地域	63849	地活	49	63800	0	0	62729	1120
	約200名		包括						
	実費		介護						
			生活						
レジンで作る♪ 桜アクセサリー	地域	10517	地活	7017	3500	0	3341	7176	0
	7名		包括						
	500円		介護						
			生活						
ハロウィン パーティーツアー	未就園児・園児親子	8212	地活	3212	5000	0	0	7652	560
	52名		包括						
	200円		介護						
			生活						
保育士とあそぼう	未就園児親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	39名		包括						
	無料		介護						
			生活						
親子でからだを つかってあそぼう	未就園児親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	30名		包括						
	無料		介護						
			生活						
ハロベビスタイル	妊産婦夫婦	0	地活	0	0	0	0	0	0
	0名(参加者がなく中止)		包括						
	無料		介護						
			生活						
ママたちの ティーパーティー	子育て世代	2494	地活	2494	0	0	0	2494	0
	16名		包括						
	無料		介護						
			生活						
小学生 ケアプラザ☆ もっと知って事業 夏休み こども☆フェス!	幼児・園児・小学生	8448	地活	748	7700	0	0	8448	0
	61名		包括						
	無料・一部実費		介護						
			生活						

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
小学生 ケアプラザ☆ もっと知って事業 銅板工芸教室	小学生	2000	地活	2000	0	0	0	0	2000
	12名		包括						
	(500円)		介護						
			生活						
小学生 ケアプラザ☆ もっと知って事業 小学生囲碁・将棋教室	小学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	17名		包括						
	無料		介護						
			生活						
小学生 ケアプラザ☆ もっと知って事業 小学生 書初め教室	小学生	427	地活	427	0	0	0	427	0
	12名		包括						
	無料		介護						
			生活						
コットンパールで作る 手作りブローチ教室	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	9名		包括						
	(500円)		介護						
			生活						
手編み アームウォーマー 教室	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	9名		包括						
	(400円)		介護						
			生活						
初心者大人の囲碁教室	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	13名		包括						
	無料		介護						
			生活						
交流会 すまいるレク体操	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	11名		包括						
	無料		介護						
			生活						
登録団体説明会	登録団体	0	地活	0	0	0	0	0	0
	52名		包括						
	—		介護						
			生活						
ボランティア 年末大掃除	ボランティアの方	1885	地活	1885	0	0	0	1885	0
	52名		包括						
	—		介護						
			生活						
ボランティア交流会	登録団体	11222	地活	11222	0	0	0	11222	0
	27名		包括						
	—		介護						
			生活						
ジュニアボランティア 夏休み 体験教室	ジュニアボランティア	3801	地活	801	3000	0	0	3801	0
	21名		包括						
	200円		介護						
			生活						
市沢地区 ジュニアボランティア 車いす体験教室	ジュニアボランティア	0	地活	0	0	0	0	0	0
	16名		包括						
	—		介護						
			生活						

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
合同歌声喫茶	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	449名		包括						
	(500円)		介護						
			生活						
旭ふれあい区民まつり 行政・PR出展事業	地域	345	地活	345	0	0	0	345	0
	450名		包括						
	無料		介護						
			生活						
くじらまつり	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	109名		包括						
	—		介護						
			生活						
市沢まつり	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	0名(荒天のため中止)		包括						
	—		介護						
			生活						
左近山地区地域 支えあいネットワーク 左近山ウォーキング	地域	992	地活	992	0	0	0	0	992
	39名		包括						
	無料		介護						
			生活						
左近山地区地域 支えあいネットワーク 左近山団地祭	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	約180名		包括						
	無料		介護						
			生活						
左近山地区地域 支えあいネットワーク スタンプラリー	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	0名(雨天の為中止)		包括						
	無料		介護						
			生活						
市沢ふれあい広場	未就園児親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	6名		包括						
	無料		介護						
			生活						

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
KTS (健太郎と楽しくしゃべろう)	住民主体の活動を理解してもらうこと、この会をきっかけに仲間の輪が広がることで他の活動にも担い手として社会参加でき、生きがいを感じられることを目的としている。月に1度集まり、近況報告から何気ない話ができ、自分の居場所になるように努めた。参加者の意見から外出を行ったり、流しそうめん等も行って、一人一人が役割をもって活動できることを実施した。また、地域活動交流事業の「子どもフェス」や「ケアプラザ祭り」にボランティアとして参加をした。	毎月1回 全12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シネマファンカフェ	映画好きな地域高齢者とサロン形式で映画について語り楽しむ。介護予防や介護保険について説明し、事業目的を伝えた。話に盛り上がった映画をシネマカフェで上映した。	H30年6月15日 H30年12月10日 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
市沢スクエアステップ	転倒予防や認知症予防として、スクエアマットを利用して身体と脳を鍛えて動きやすい身体を作りながら仲間作りも行った。	第1、3金曜日 元気づくりステーションとして実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シネマカフェ	日頃閉じこもりがちの方が外出できるように機会を作った。懐かしい映画を観て元気になっていただき、ケアプラザを知る機会を作ることができた。終了後のサロンでは観覧した映画を話題に参加者同士でコミュニケーションをとることができた。	H30年9月29日 H31年3月23日 全2回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネ・民生委員交流会	民生委員と左近山、市沢を担当するケアマネージャーの顔合わせの機会を設け、事例検討をおこなった。	H31年2月20日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域包括支援連絡会	事例検討を通して、担当地区近隣の居宅介護支援事業所のケアマネージャー同士の情報交換や、地域の医療関係者との連携を取り、ネットワーク構築を図った。	H31年1月29日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症講演会	認知症予防のための講演会を実施した。地域住民に近い目線から日常生活の改善のために必要な講演をいただき、普及啓発を行う。認知症の気づきやどのようにしたら認知症を予防できるのかを症状をふまえながらわかりやすく説明をして頂いた。	H30年12月7日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
消費者被害防止講演会	地域包括支援センター社会福祉士による消費者被害防止DVDを使用した住民向けの講演や、消費生活総合センターや消費生活推進員等に講師依頼をして講演会・座談会を行うことで注意喚起を行った。	H30年11月29日 全1回



# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	左近山、市沢住民に認知症の啓蒙を行う。キャラバンメイトの地域包括支援センター職員とひまわりの会の協力を得て講習会を実施した。	H30年9月5日 H30年9月21日 H31年3月10日 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
協力医講演会	左近山地域ケアプラザ協力医による、健康に関することと、これからの生活の送り方等についての講演を予定していたが、企画変更により10月から地域住民向けに、月に2回医療に関する相談会を開催し実施している。	医療相談会として 第1・3火曜日に 実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳トレ教室	学習療法を用いた認知症予防教室。くもん教材の読み書き計算ドリルを週に1回行った。参加人数は減少傾向だがその分参加者同士のコミュニケーションの機会が増え、認知症予防という点でも良い機会となった。	毎週火曜日 全46回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笑顔の会	外出しながらおしゃべりをして、日頃の介護の相談やストレス発散を目的に開催。介護をしている家族、将来の介護を不安に思う方、ただ楽しみたいと参加できる場所を探している方等、対象者を限定せず普段の悩み事や不安を解消できる癒される場を作るために年4回おしゃべりしながらの、外出の機会をつくった。	H30年4月11日 H30年7月11日 H30年10月10日 H31年1月16日 全4回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミュージックタウン	懐かしい歌をうたいながら音楽を通して、認知症予防や精神的ストレスの軽減を図ることを目的として実施した。	第4金曜日 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レコードカフェ	レコードとオーディオセットをボランティアが持参し、左近山地域ケアプラザで開催した。昔懐かしい曲をレコードで聞くことができるため、その音を求めて参加される方が多かった。男性が一人で参加されることも増えた。気軽に参加できる会ということで介護予防・ひきこもり防止に繋げることができた方もいた。	毎月第4木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアーズカフェフォローアップ/あいさつ運動	独居高齢者や認知症を持つ地域住民の集いの場づくりの支援を行う/あいさつ運動は地域の有志により活動され、住みやすい街作りを目的としている。買い物などで通りかかる住民に地域の有志とともに、挨拶をしこの運動の目的を書いたチラシの配布を行った。	年間を通して14回 に参加

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防トレーニング	地域で開催されているオープンカフェの一部の時間を利用して、認知症予防に関わる教室を行う。認知症予防を身近なものに感じることで地域で開催できるようにフォローを行った。	第2, 4土曜日 全7回に参加

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
楽しく体操	転倒予防及び認知症予防を目的として身体を動かし、閉じこもり予防としても外に出る機会を作った。参加者同士が健康や介護に関する話題を提供することも多く、情報交換の良い機会にもなった。	第2、第4火曜日 全20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっと体操	元気づくりステーションでもあるほっとさこんやまの2階での体操教室。体操が収録されたDVDを見ながら、参加者全員で体操を行った。教室の前後にはほっとさこんやまの1階の喫茶でお茶を楽しみ、買い物等のついでに気軽に参加できコミュニケーションを深められる機会を作った。ケアプラザまでは来れないがここなら近いから通えるというやや虚弱な高齢者、特に独居の話相手のいない方が参加されて、仲間が出来たと喜んでいて。	毎週金曜日(祝祭日 休み) 元気づくりステーションとして実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネ連絡会	鶴ヶ峰地域ケアプラザ、白根地域ケアプラザの地域包括支援センターとの合同で3包括の担当地域で活動するケアマネジャーを対象に連絡会を開催して情報共有とお互いの研鑽を深めるための勉強会等を、鶴ヶ峰地域ケアプラザを会場にし開催した。	H30年5月15日 H30年7月17日 H30年9月18日 H30年11月20日 H31年3月19日 全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なんでも会	日々の出来事を伝えたり自分が得た情報を発信することで、認知症予防や生活を見直すきっかけとなる。自分の意見に賛同してくれる方がいることで自信を持って生活することも目的とする。参加者同士がなんでも話し合うことで仲間作りにつながっている。	毎月第2木曜日 全11回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康吹き矢 フォローアップ	腹式呼吸を使う吹き矢は肺機能によく、参加者で楽しみながら健康のことを考えられる事業。的を狙って点数を競うことで競争心があおられ、チーム同士でのコミュニケーションの機会や仲間意識を持つことを目指した。フォローアップとして事業を継続するために、新規メンバーの募集等に協力し都度の相談を承った。	第1、第2金曜日開催 都度の相談等のフォローを行う

事業名	目的・内容	実施時期・回数
相続と税金講演会	参加した方が相続・税金について学ぶことで各々の課題に気付くと共に、成年後見制度を知ることによって今後の人生において必要な準備を行うきっかけとなった。	H30年5月29日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボールde元気	介護予防に対する意識を持ち自分の身体は自分で作ろうと考える高齢者を増やすきっかけとして、子どものころに遊んだボールを使って楽しみながら、ひとりでは行わないボールを使った体操を取り入れて身体作りと仲間作りを行った。	H31年2月15日 H31年3月15日 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ペタンク交流会	ペタンクさくらとすみれの各グループの参加者同士の交流会を持つことで継続意欲を高める。1チーム5・6名に分かれてチーム対抗戦を行うほか、参加者全員で歌を歌って交流を持った。事前に新規参加者も募り、会の運営協力も行った。	H31年1月31日 全1回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアプラザ祭り 介護予防教室体 験	介護予防教室の体験を通して健康意識を高める。実際にボールを投げたりマットの上を歩いていただくことでペタ ンク・スクエアステップの楽しさを知っていただいた。	H30年11月4日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域密着型事業 所連絡会	今後の事業所運営の参考となるよう事業所間での情報交換 を行う。事業所の自己紹介のほか、困っていることや地域 密着型として何を行っているかをテーマに話し合い、情報 交換と共有することができた。	H30年6月27日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
実になる体操	虚弱な方も元気な方も参加できる転倒予防の体操教室とし て、音楽に合わせて身体を動かし体力づくりと外出の機会 につながった。	H30年4月4日 H30年4月25日 H30年5月2日 H30年5月23日 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
喫茶 みっかぼーず	引きこもり防止・居場所づくりにより地域で顔の見える関 係を作る。ケアプラザを知り、利用して頂くきっかけづく り。 季節に合わせたお茶菓子（ボランティアの手作り・アレン ジ）を食べ、お茶を飲みながらの歓談や、職員による参加 型レクリエーション・外部のボランティアに依頼しレクリ エーションを楽しんだ。	第1日曜日 (8・1月休み) 11月ケアプラザ祭り内 全9回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で体操 すてっぷ	親子の居場所づくり・仲間づくり、楽しみながら団体行動のルールを学ぶ。子育てや成長過程についての情報交換の場。 音楽に合わせリズム体操や、様々な用具を用いバランス感覚や基本動作を養う運動を行った。親子で触れ合い、遊び感覚で運動を楽しんだ。	第4木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でリズム 1・2☆ ジャンプ	園児を対象とし、子どもと子育て世代のケアプラザ利用を促進する。楽しみながら団体行動のルールを学び、居場所づくり・仲間づくりを行う。親子で触れ合う運動や、お母さんのストレッチや筋トレ指導も取り入れ、リフレッシュタイムを実施。音楽に合わせたリズム運動レクリエーションを親子で共有することを楽しんだ。	第1金曜日 (4月休み) 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママ改造計画 SASA☆GAGA スクール	子育て世代の母親を対象とし、健康づくり、健康意識の改善と体形補正や維持を目的として行う。講師指導の下、本格的なエクササイズや筋トレ、音楽に合わせてのシンプルエアロビを中心に、月2回の運動を楽しんだ。子ども同伴での参加が可能で、その時の子どもの状況により同室での見守りや別室でのボランティアの見守りが選べ、子どもの遊びの場としてや育児についての情報交換や気分転換の場として行った。	第1・3木曜日 (1回の月あり) 全19回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
精神障害者地域 交流促進事業 てっぱん	精神障害をお持ちの方が居場所のひとつとして、地域ケアプラザを利用できるようにする。サロン形式で、ふれあいを持てる環境づくりを行い、自宅での閉じこもりを防ぐ。月替わりでお茶飲みレクリエーションや食事会、外出プログラム、他地域ケアプラザのサロン事業と合同レクリエーションを実施し交流を行った。	第2木曜日 (8月休み) 全11回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障害児余暇支援 親子で きしゃぼっぼ	障がいのある小学生・中学生の家族で参加する余暇支援。親子や兄弟・姉妹で参加する事で居場所づくり・仲間づくり・情報交換の場として活動する。その都度、近隣学校へ広報し申込みを受け実施。施設の職業体験や室内での季節イベントレクリエーション、また、外出レクリエーションを実施した。	第3日曜日 (5・7・9・ 12・1・3月) 全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
左近山 ふれあい寄席	ケアプラザを知り、利用して頂くきっかけづくり。引きこもりの防止や楽しみを持つことでの生きがいづくり。前半はギター伴奏に合わせ懐かしの昭和の歌をうたい、後半は落語を楽しむ2部構成で行った。	2回/年 (7・1月) 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ギターの調べ	ケアプラザを知り、利用して頂くきっかけづくり。引きこもりの防止や楽しみを持つことでの生きがいづくり。前半はクラシックから歌謡曲まで様々なジャンルのギター演奏を聴き、後半は童謡や懐かしの歌謡曲などをギター伴奏に合わせて歌を楽しむ2部構成で行った。	2回/年 (9・3月) 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子であそぼう けあふらんど	親子の居場所づくり、仲間づくり、親子のコミュニケーションの場。今年度は地域で活躍する団体「あさひプレイパーク」と「おはなしつくんこ」の2団体に協力頂き、ダンボールで遊ぶフリースペースや人形劇を行った。	4回/年 (5・8・11・3月) 全4回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
初めての俳句	地域ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。俳句を通じての仲間づくり。趣味を持つことで、外出の機会が増え健康づくりに役立てる。 課題に合わせた句を持ち寄り、講師を含めた句会で批評を行った。ケアプラザ主催の作品展や、旭区の団体が出展する催し物への出展参加を行った。	第3木曜日 (8月休み) 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まち散歩	引きこもりの防止・仲間づくり・健康づくりを目的とする。 地域に住むお散歩ガイドボランティアによる、各名所由来ガイドつきウォーキングを実施。座間、大倉山周辺の公園を中心に、公共機関を使いウォーキングをしながら歴史的建造物の見学や自然散策などを楽しんだ。	2回/年 (11・2月) 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おおなべ大会	ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。地域の方の多世代間交流の場、ケアプラザ事業で結成されたボランティアグループの活動の場として実施。今回はアイルランドのアイリッシュシンチュウを提供。調理や販売をボランティアグループ中心に行った。小さい子どもから高齢者の方々まで、地域の方が同室にて飲食を共にし、時間を共有することで会話が生まれ、世代間交流を楽しんだ。	1月30日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラ 芸術会	ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。登録団体のステージ発表や作品展、地域の方に活動を知ってもらい、新規メンバー獲得につなげる。また、体験会への協力を通じた登録団体の福祉保健活動の場。 地域の方や団体の作品を二日間展示、6団体によるステージ発表と3団体による体験会を行った。また、登録団体主催による歌声喫茶も開催した。	6月23日 24日 全2日



# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアプラザ祭り	ケアプラザを地域へPRし、利用のきっかけづくりを目的に実施。登録団体、ボランティア団体の活動・活躍の場、世代間交流の場として行う。地域のボランティア団体や自主事業参加メンバーによる屋台の出店。2つの介護予防教室の体験会や健康チェックコーナーを実施。子ども向けジャンケンラリーや縁日コーナー、プレイルームの設置、臨時の喫茶みっかぼーずを行った。販売や各ブースの手伝い、場内整理などをジュニアボランティアや地域の方に協力していただき開催した。	11月4日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レジンで作る♪桜アクセサリ	地域ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。引きこもり予防、仲間づくりの場。新しい趣味を見つけ生きがいを持つきっかけづくりの場。講師を招き、桜の型枠レジンを流し込み、色付けや装飾をしながら重ね付けし、ペンダントヘッドの製作を行った。作品を作る楽しさと、参加者同士の交流を楽しんだ。	2月26日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハロウィンパーティーツアー	未就園児・園児親子にケアプラザを知ってもらい、活用してもらおうことを目的に実施。参加者同士の交流の場・情報交換の場。午前を未就園児親子、午後を園児親子対象にて開催。ハロウィン柄のランタンを親子で作成し、ハロウィン使用に装飾したマイクロバスに乗車。地域内の商店街へ出掛け仮装行列をしながらお菓子をもらいに歩いた。参加者同士や協力店舗の店員、地域の方々との交流を楽しんだ。	10月29日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
保育士とあそぼう	左近山保育園主催事業。子育て世代親子の交流の場、仲間づくりの場。保育士と交流することで、子育てについての情報提供や相談を行う。ケアプラザを知ってもらい、活用してもらおうことを目的に実施。親子で楽しむ歌遊びやパラバルーン、手作りおもちゃ製作、大型絵本の読み聞かせを行った。保育士と一緒に遊ぶなど、それぞれの時間を楽しんだ。	7月3日 全1日

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子でからだをつかってあそぼう	左近山保育園主催事業。横浜市体育協会地区担当者が講師協力。子育て世代親子の交流の場、仲間づくりの場、子どもの体力づくりの場。子どもの体の成長についての知識を学び、保育士や講師と交流することで、子育てについての情報提供や相談を行う。ケアプラザを知ってもらい、活用してもらうことを目的に実施。親子で触れ合いながら行う運動や新聞紙やビニール袋を使っでの遊びなどを楽しんだ。	10月2日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハロベビスタイル	プレ両親・生後6か月までの赤ちゃんを持つ両親を対象に、講座や交流会を開催。父親の育児協力促進も目的とし、夫婦で子育てに関する情報をあらゆる分野より学ぶ。出産・育児を通しての仲間づくりの場、交流の場、情報共有の場。広報誌や館内掲示、対象者の集まる事業での広報を行ったが、参加申し込みがなかった。	参加申し込みがなかった為 中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママたちのティーパーティー	子育て支援の一環として、子育ての不安や悩みを解消し楽しむ子育てへと繋げる。子育てを通しての仲間づくり、交流の場、情報共有の場、リフレッシュの場となる。講師を招き、子育ての話と自作の詩の朗読をヘルマンハーブの演奏と共に。後半は、講師を含めたお茶会をしながら、子育ての話や悩み相談など、参加者同士の交流を行った。	2月17日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生ケアプラザ☆もっと知って事業 夏休み子ども☆フェス!	小学生にケアプラザをもっと知ってもらう事を目的に実施。登録団体や地域にお住いの方協力のもと、長期休暇の余暇支援として実施。スタンプカードを用い、各ブースを自由に回り参加する。各ブースを団体参加者が企画・準備、当日の係を担当し、多世代間交流をしながら子どもたちはゲームや工作、制作などを楽しんだ。また登録団体のボランティアによる軽食の調理・販売を行った。	8月23日 全1日

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小学生ケアプラザ☆もっと知って事業 銅板工芸教室	小学生にケアプラザをもっと知ってもらう事を目的に実施。登録団体や地域にお住いの講師の協力のもと、長期休暇の余暇支援として実施。銅板工芸を行っている団体を講師として招き、銅板に絵を転写しボールペンでなぞり描くところから、薬品液で色を付けるところまで指導いただいた。初めて行う技法でのオリジナルの作品作りを楽しんだ。	7月30日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生ケアプラザ☆もっと知って事業 小学生囲碁・将棋教室	登録団体「囲碁サークル 水曜会」主催の福祉保健活動事業として、企画・準備・当日の運営を団体が行う。ケアプラザは後方支援として協力。地域の小学生にケアプラザをもっと知ってもらい利用につなげる事や、囲碁の楽しさを知ってもらう事を目的に実施。団体メンバーが講師となって、子ども達に囲碁や将棋のやり方を教え、対局を行った。地域の子どもと関わるボランティア活動の経験を通して、多世代間交流の楽しさと必要性を知ってもらった。	7月26日 8月 2日 9日 16日 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生ケアプラザ☆もっと知って事業 小学生書初め教室	登録団体「みやび 書道教室」主催の福祉保健活動事業として、企画・準備・当日の運営を団体が行う。ケアプラザは後方支援として協力。地域の小学生にケアプラザをもっと知ってもらい利用につなげる事や長期休暇余暇支援、書道の基本作法などを学ぶことを目的とし開催。学校から持ち帰っている冬休みの課題を団体メンバーが講師となり、子ども達に書き方やアドバイスをもらい書いた。地域の子どもと関わるボランティア活動の経験を通して、多世代間交流の楽しさと必要性を知ってもらった。	12月26日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コットンパールで作る 手作りブローチ教室	登録団体「手芸サークル パンプキン」主催の福祉保健活動事業として、企画・準備・当日の運営を団体が行う。ケアプラザは後方支援として協力。地域住民にケアプラザをもっと知ってもらい、利用につなげることや、新しい趣味を見つけ生きがいを持つきっかけづくりの場を目的に実施。団体メンバーが講師となって教え、アクセサリー制作を楽しんだ。ボランティア活動の経験を通して、地域住民との交流の楽しさと必要性を知ってもらった。	12月4日 全1日

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
手編みアーム ウォーマー教室	登録団体「編み物サークル 手編みの会」主催の福祉保健活動事業として、企画・準備・当日の運営を団体が行う。ケアプラザは後方支援として協力。地域住民にケアプラザをもっと知ってもらい、利用につなげることや、新しい趣味を見つけ生きがいを持つきっかけづくりの場を目的に実施。団体メンバーが講師となって教え、アームウォーマー制作を楽しんだ。ボランティア活動の経験を通して、地域住民との交流の楽しさと必要性を知ってもらった。	9月25日 10月22日 全2日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初心者大人の囲碁教室	登録団体「囲碁サークル 六星会」主催の福祉保健活動事業として、企画・準備・当日の運営を団体が行う。ケアプラザは後方支援として協力。地域住民にケアプラザをもっと知ってもらい利用につなげる事や、囲碁の楽しさを知ってもらい新しい趣味を見つけ生きがいを持つきっかけづくりの場を目的に実施。団体メンバーが講師となって、囲碁のやり方を教え対局を行った。ボランティア活動の経験を通して、地域住民との交流の楽しさと必要性を知ってもらった。	6月 2日 9日 16日 30日 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
交流会 すまいるレク体操	登録団体「すまいるレク体操」主催で、メンバー増員を目的に実施。ケアプラザが後方支援として企画や広報、参加受付を行った。当日の準備や運営は団体が行い開催。通常のプログラムをメンバーと共に体験し、会の楽しさや運動の重要性を知ってもらい、メンバー登録、会の増員に繋がった。	7月13日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体説明会	団体の活動目的を再認識して頂き、ケアプラザ利用方法を再確認する目的、団体同士の交流の場として実施。貸館利用のルールや、手続きの流れを説明し再確認した。福祉保健活動協力団体においては、活動報告の方法を説明し、各団体の年間に行った福祉保健活動の様子を紹介を行った。また、認知症のメンバー受入れに対する意見交換の場もあった。	12月9日 全1日

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア 年末大掃除	貸館利用団体の施設清掃ボランティア活動の場。施設利用方法を見直す場。他団体との交流・情報共有の場として実施。各団体より数名が参加し、3階フロアや施設周辺屋外の清掃を自主的に行って頂いた。清掃終了後、お茶と少々のお菓子を提供し参加者同士の交流を楽しんだ。	12月25日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 交流会	ケアプラザ自主事業や、デイサービスでボランティア活動をしている方々の交流の場、活動紹介の場、意見交換の場、さらなるボランティアの活動範囲を広めることを目的として実施。デザートやお菓子、飲み物等を食しながら歓談を楽しんだ。新たな活動の場へや他ボランティアの活動への理解を深める為、活動の様子を画像にて紹介した。	3月22日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジュニアボラン ティア 夏休み体験教室	左近山・市沢のジュニアボランティアの小学生の交流の場。福祉関係の知識を学び、体験する場として実施。午前中は支え合いマップゲームを通して、個人や地域での支え合いの目を養った。また灯籠制作を行い、午後のデイサービス利用者とする灯籠制作の材料準備も行った。お昼のデザート（きらきらゼリー）作りで親睦を図り、デイサービスでのレクリエーションボランティアを通して高齢者との交流・福祉体験を行った。	8月9日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
市沢地区ジュニア ボランティア 車いす体験教室	市沢地区のジュニアボランティアの小学生を対象とし、高齢者・障害者理解と車いすについて学ぶことを目的として実施。図を使い、高齢者の体の変化や生活に潜む危険を考え、危険個所を探した。また、車いすの部位についてや操作方法を学び、実際に車いすに乗車し介助する側・される側を実際に体験し、バリアフリーの大切さや、体の不自由な方に寄り添う心などを学んだ。	9月8日 全1日

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
合同歌声喫茶	歌を通じての仲間づくり、健康づくりの場の提供。旭公会堂を会場にして、童謡・唱歌を参加者463名全員で歌った。ケアプラザの紹介や被災地訪問の様子を紹介を実施。地域の作業所の販売を行った。	5月30日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい 区民まつり 行政・PR出展 事業	旭区各地区の地域福祉保健計画の紹介とケアプラザの紹介。子どもの居場所、多世代交流、子育てサロンをテーマに各ケアプラザ圏域の取組をパネルで紹介。掲示した活動についての意見募集を行った。子育て世代を中心とした多世代交流を目的とし、子ども向け輪投げゲームを実施。関連ブース（旭区福祉保健課事業企画担当及び旭区地域子育て支援拠点「ひなたぼっこ」）連携による、ワードラリーを行った。	10月21日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くじらまつり	近隣施設との相互理解と連携に繋がる関係づくり。またイベントへの協力を通して、ケアプラザを知って頂くきっかけづくり。近隣施設利用者との交流を行う。空とぶくじら社企画主催のスタンプラリー内の1コーナー「ストラックアウト」のスタッフを担当し、障害の子ども達やご家族、地域の方々とのふれあいを行った。	7月21日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
市沢まつり	市沢地区主催のイベントへ参加協力を通して地域貢献活動を目的とし、地域住民との交流を行うことでケアプラザを知って頂くきっかけづくり。連合町内会主催の「射的ゲーム」をお手伝いする予定だったが、荒天の為中止となった。	荒天の為中止

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
左近山地区 地域支えあい ネットワーク 左近山 ウォーキング	左近山地区地域支えあいネットワーク主催イベント。地域住民の交流、健康意識向上、健康促進、地域活性化を目的に実施。全国都市緑化フェア開催の周知を行う。左近山からよこはま動物園ズーラシア・里山ガーデンまでウォーキングを行った。4月開催は、ケアプラザ事業と合同開催。参加者同士一緒に昼食を取ったり、会場を散策するなど、自治会関係者、支えあいネットワークメンバーや参加者同士、交流を楽しんだ。	4月11日 10月2日 全2日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
左近山地区 地域支えあい ネットワーク 左近山団地祭	左近山地区地域支えあいネットワーク主催イベント。支えあいネットワークの活動を知ってもらい、イベントへの参加や協力をするきっかけづくりの場として開催。活動内容や地域のボランティア活動情報、周辺施設紹介などを掲示。福祉相談所や健康チェックコーナー・暗記力チェックコーナーを実施。子ども向けの輪投げコーナーも開催し、各世代に楽しんで頂いた。	8月18日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
左近山地区 地域支えあい ネットワーク 左近山 スタンプラリー	左近山地区地域支えあいネットワーク主催イベント。地域住民の多世代間交流、健康促進、地域活性化を目的に実施。地域に住む小学生の余暇支援として行う。支えあいネットワークで制作した「公園マップ」を用い、左近山内2箇所の地点よりスタートし、地域内の公園に設置された6箇所のポイントを回り、ゲームを行いチェックを集める内容で実施予定だったが、降雨の為中止となった。	雨天の為中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
市沢 ふれあい広場	市沢地区社会福祉協議会主催で毎月開催されている、市沢ふれあい広場でのプログラム実施依頼を受け、ケアプラザのPRや地域貢献活動、子育て支援を目的として実施。新聞紙を使った親子で楽しめる内容として、「新聞ジャンケン」「新聞割あそび」「ヨーヨーづくり」を行った。普段できない遊びを親子で楽しんで頂き、また、職員と参加者、参加者同士が交流することができた。	5月10日 全1日